

市民記者のページ



おおどり ともこ
大泊 知子さん (黒子)

今年も節分祭に参加して、護摩の煙をいただき、心身の健康を祈りたいと思います。みなさんもぜひお越しください。



和太鼓の演奏や園児らによるよさこいソーラン踊りなど、アトラクションも充実しています。



第22回 黒子まち 節分祭 会場：千妙寺 (黒子)

平成**31**年**2**月**3**日 (日) 午前**10**時～

護摩祈禱・豆まきは料金が発生します。事前申込みも可能です。詳細は問い合わせてください。

申問 実行委員会 松本 ☎37-2267

家内安全・厄除開運を願って 黒子まち 節分祭

歴史ある千妙寺で、**袴**を身に着け、**みんなで豆まき**

地域住民参加型の 節分祭

「鬼は外、福は内」。かつて節分の日にはどこの家からも聞こえてきた声。最近ではあまり聞こえてこなくなったように思います。そんな伝統行事を復活させ、地域住民が一体となって運営しているのが梨の里創生事業「黒子まち 節分祭」です。

平成10年、県の「一村一文化

創造事業」として当初は1回限りの予定で行われた節分祭でしたが、会場となった千妙寺(黒子)の前住職から「地域の発展と活性化のためにもぜひ続けて欲しい」との要望と支援を受け、2回目以降も継続することが決まったそうです。

節分祭実行委員会委員長の松本紀生さんによると、その後も続けてこられたのは、会場でもある千妙寺のほか、地区内にある寺院の協力とボランティアとして祭りに協力してくれる黒子

地区住民の力が大きいそうです。また、広いお堂の中で複数のお坊さんによる護摩祈禱という厳かな儀式を体験した人たちの感動の声や、初めて大勢の人を前に豆をまいた園児たちの喜びの声が、大きな励みとなったそうです。

来年で22回目を迎える節分祭ですが、開催を支える住民たちの高齢化のため年々運営が厳しくなっています。若い人たちの力が必要とされているのだと実感しました。

露店やアトラクションも 充実しています

節分祭では、実行委員によるけんちゃん汁の無料配布をはじめ、福豆や焼きそば、手打ちそばの販売、フリーマーケットなどが催されます。事務局の小野澤正俊さんは「PRの方法や企画を見直して、年々参加者は増えています。毎年、地元の園児やスポーツ少年団など、多くの人が豆まきを行っています、

豆まきに参加してみませんか

来年は、ちょうど節分当日に節分祭が開催されます。厄除け、家内安全などを祈願する参加者を募集しています。袴を身に着け、豆まきを体験してみませんか。客殿の浜縁から見る景色は、いつもとは違った何かが見えるかもしれません。

もっとたくさんの人に豆をまいてもらいたいです」と話します。